

**平成30年度
ふるさと創生基金事業計画書
(案)**

平成30年4月1日

長岡市栃尾地域ふるさと創生基金事業実行委員会

事業テーマ

もっと
大好き
とちお



事業目的

◆ 地域資源の再認識

住民自身が地域資源を再認識することで自分たちの地域に誇りを持って住み続けられるよう、また、自信を持って栃尾の魅力を発信し、積極的に来訪者を受け入れていくことができるよう住民意識を高める。

◆ 交流活動の活性化

地域資源を活用したイベントの実施や積極的な情報発信により、交流活動を活性化させ、交流人口の拡大を図る。

事業の柱

1 とちお魅力アップ作戦

栃尾地域の住民が地域の宝である歴史や文化、自然を再認識するきっかけとなるような事業や、地域の課題を解決するための事業を展開する。

さらに、栃尾の魅力に磨きをかける事業を展開し、住民が誇りを持てる地域へと栃尾の魅力を高めることを目指す。

【個別事業】

- あぶらげんしん活用促進事業
- 子どもの健康づくり推進事業
- 地域の宝ブラッシュアップ事業
- 地域と栃校生との交流促進事業



2 リピーター倍増作戦

地域資源を積極的に活用した地域住民が主体となって取り組む事業を展開し、栃尾の魅力をPRすることによってリピーターの増加を目指す。

【個別事業】

- 花ももの郷栃尾PR事業
- トチオノアカリ支援事業



平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	あぶらげんしん活用促進事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>栃尾のご当地キャラクター「あぶらげんしん」のデザインは現在パターンが少ないため、栃尾の魅力を広く発信する様々な場面で活用できるように公募によってデザイン数を増やす。</p> <p>募集にあたっては栃尾地域の小中学生や高校生からも積極的に応募してもらえよう働きかけ、栃尾について考えてもらうきっかけとする。</p> <p>また、このコンペをきっかけに、完成したデザインを使用してもらうことで多くの人から栃尾の発信者となってもらう。</p> <p>[事業内容]</p> <p>あぶらげんしんを使用したデザインコンペの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾地域の小中学校や高校をはじめ、広く募集する。 ・ 10 点程度の入賞作を審査により選定し、栃尾地域の市民や企業・会社から栃尾のPRのために広く愛用してもらう。 ・ 申請により新商品の開発や販促の一助としても利用してもらう。
実施主体等	栃尾商工会商業青年部
スケジュール	<p>6 月上旬 デザイン募集開始</p> <p>9 月末 デザイン募集締切り</p> <p>10 月中旬 最終審査</p> <p>12 月 デザイン発表</p>
予 算	<p>助成金 350,000 円</p> <p>広報費、賞品代、審査員謝礼 ほか</p>

平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	子どもの健康づくり推進事業
概要	<p>[目的]</p> <p>インターネットや携帯電話等の普及によって、子どもたちの生活リズムが乱れたり、親子のコミュニケーション機会が減少したりといった影響が指摘される中、子育て中の親からは「子どもとの接し方がわからない」という声が聞かれる。</p> <p>そこで、栃尾の子どもたちが心身ともに健康で自立した大人に成長できるよう、保護者として子どもたちにどう向き合えばよいかを学び合う機会を設ける。</p> <p>[事業内容]</p> <p>子育て講演会の開催</p> <p style="padding-left: 2em;">時期＝平成 30 年 6 月 23 日(土)</p> <p style="padding-left: 2em;">会場＝栃尾産業交流センター てまりホール</p> <p style="padding-left: 2em;">講師＝教育評論家 親野智可等氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市 P T A 連合会栃尾ブロックと合同で開催する。 ・親子のコミュニケーションをテーマとする内容とし、参加者同士の意見交換の時間も設ける。 ・栃尾地域の小中学校の児童・生徒の保護者に学校を通してチラシを配付する。
実施主体等	<p>栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会</p> <p>(事務局：長岡市栃尾支所市民生活課)</p>
スケジュール	<p>4 月～ 広報チラシ作成</p> <p>5 月 P T A 役員との打ち合わせ 広報及び参加者募集</p> <p>6 月 子育て講演会開催</p>
予算	<p>講師謝金、広報費ほか 450,000 円</p>

平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	地域の宝ブラッシュアップ事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>旧石峠街道や石峠の山城遺構など、入東谷地域にある地域資源を観光資源としてブラッシュアップし、交流人口の拡大につなげる。</p> <p>地域内の各集落が連携して事業に取り組むことによって、入東谷地域全体の活性化を目指す。</p> <p>[事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 石峠街道の整備 栗山沢ルートを整備（除草及び雑木伐採）するとともに、松尾城までの散策ルート整備に着手する。 2. 遺構勉強会の開催 一般市民向けに、石峠城などの遺構についての勉強会を開催する。 3. 民話の地散策ツアーの実施 民話「栗山カエルと広瀬カエル」の舞台である石峠を散策するツアーを実施する。 4. 説明看板等の設置 街道の標識と大石の説明看板を設置する。
実施主体等	入東谷活性化プロジェクト
スケジュール	<p>4 月又は 6 月～ 街道整備</p> <p>9 月 遺構勉強会</p> <p>10 月 散策ツアーの開催</p>
予 算	<p>助成金 550,000 円</p> <p>重機借上げ料、看板作製費、講師謝金 ほか</p>

平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	地域と栃高生との交流促進事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>栃尾唯一の高等学校である栃尾高等学校は、平成 30 年に創立 110 周年を迎える歴史と伝統のある学校で、近年では生徒が地域に出て産業や文化などを学ぶなど、地域とともに進める学校づくりに取り組んでいる。</p> <p>この栃尾高校の地域における取組みを地域住民に広く知ってもらうとともに、栃尾の将来を担う高校生に地域への愛着を深めてもらい、ともに地域を盛り上げていくため、栃尾高校生と地域住民との交流を促進する。</p> <p>[事業内容]</p> <p>「来て見て作って！体験フェスティバル 2018」の開催</p> <p>日時＝平成 30 年 8 月 10 日（金） 午後 1 時～4 時 ※予定 会場＝栃尾文化センター ※予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栃尾高校の生徒の企画運営による出張文化祭 ・ 書道部による書道パフォーマンスや部活単位などで企画する体験型模擬店などを内容とする。 ・ 栃尾文化協会など地域内の団体とも連携して実施する。
実施主体等	N K S ・ T R C 共同事業体 新潟県立栃尾高等学校
スケジュール	4 月 部活、委員会ごとに内容を企画 6 月 チラシ作成、広報開始 8 月 イベント開催
予 算	委託料 380,000 円 原材料費、広報費 ほか

平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	花ももの郷栃尾 P R 事業
概 要	<p>[目的]</p> <p>栃尾地区を一望できる鳩峰・栄六園（鷹待場）と山道に地域住民の散策と憩いの場と花見の名所として整備してきた「花ももの郷栃尾」を地域内外に広く P R し、交流人口の増加を図る。</p> <p>また、案内標示などを充実させ、利用者の利便性向上を図ることによりリピーターの増加を目指す。</p> <p>[事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遊歩道全体の案内(地図)看板及び案内標示看板の設置 完成した遊歩道全体のコース案内看板を駐車場に設置する。また、栃尾山田町側からの登り口に道案内のための案内標示を設置する。(2か所) 2. パンフレットの作成、配布 遊歩道のコース案内のためのパンフレットを作成し、観光協会の窓口等に設置して配布する。 3. 散策イベントの実施 4. 遊歩道の周辺樹木の伐採 遊歩道周辺の樹木が大きくなり、植樹した花ももの生育を阻害しているほか、眺望も悪くしているため、邪魔になっている木を伐採し、眺望を確保する。
実施主体等	花ももの郷栃尾
スケジュール	<p>4 月 伐採開始、看板・パンフ作成</p> <p>8 月 散策イベント参加者募集開始</p> <p>9 月 散策イベント開催</p>
予 算	<p>助成金 800,000 円 (全体事業費は 970,000 円)</p> <p>看板制作費、伐採委託費、広報費 ほか</p>

平成 30 年度 ふるさと創生基金事業 個別計画書

事業名	トチオノアカリ支援事業
概要	<p>[目的]</p> <p>栃尾の中学生のアイデアから生まれ、栃尾の若者の手によって実現された「とちお夜のランプ祭り」は、「秋葉百八風鈴灯」などの他のイベントとの同時開催により「トチオノアカリ」として一大イベントに成長した。</p> <p>このイベントの実施に様々な団体に関わることによって地域内の連帯感が生まれ、また地域内のすべての保育園・幼稚園、小中学校、高校の子どもたちがランプ制作にかかわることによって地域への愛着や誇りが生まれている。</p> <p>この新たな栃尾の魅力の一つとなった「トチオノアカリ」を継続して実施できるよう支援し、交流人口のさらなる増加を図る。</p> <p>[事業内容]</p> <p>とちお夜のランプまつりと秋葉門前ナイトマルシェなどから成るトチオノアカリの実施を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの時期は9月前半の土日を予定。にぎわい委員会の秋葉門前ナイトマルシェと同日開催とする。 ・主に谷内通りの下置き用に糸繰木枠ランプを追加整備する。 ・広報活動を強化し、栃尾地域外へも積極的に情報発信する。
実施主体等	トチオノアカリ協議会
スケジュール	<p>4月 作品づくりについての交渉開始</p> <p>5月 広報活動開始</p> <p>6月 新規ランプ作成、既存品の点検、各種申請(道路占用等)</p> <p>8月 家族参加型の作品づくり実施、ワイヤー張り等直前準備</p> <p>9月 イベント実施</p>
予算	<p>助成金 1,000,000円 (全体事業費は1,500,000円)</p> <p>制作費(材料費及び加工費)、広報費 ほか</p>

平成 30 年度栃尾地域ふるさと創生基金事業 個別事業実施団体概要

①栃尾商工会商業青年部

代表者	松生 健太
構成員数	8 人
設立時期	昭和 35 年 10 月
活動テーマ	物販を通じた地域活性化活動
団体発足の経緯と活動内容	<p>栃尾商工会の内部組織として発足。主な活動内容は地元行事等への積極的な参加や、部会独自の地域活性化活動。近年では渉外事業として他地域のイベントに合わせ地元の商工会青年部と連携して栃尾の特産物の出店事業を行っている。</p> <p>また、例年必ず商業エリアへの視察研修を行っており、栃尾の未来を担う青年部として積極的なスキルアップに取り組んでいる。</p>
活動履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・全日本樽みこし綱引き選手権大会主管(平成 5 年頃から) ・視察研修(毎年) ・遊雪まつり、自慢市などでの飲食販売(現在は休止中) ・アルビレックス BB プレオープン飲食出店(平成 19 年及び 26 年) ・栃尾地域外にて出店事業を行い、栃尾の特産物を PR(平成 28 年度から実施)

②栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会

代表者	佐藤 義尚
構成員数	17 人
設立時期	平成 21 年度
活動テーマ	栃尾地区における子育ての課題を明らかにし、解決のための有効な支援策を検討する。
団体発足の経緯と活動内容	<p>栃尾市時代から地域住民、保育園、幼稚園、学校、医療機関等、子どもを取り巻く関係者が参集し、「栃尾市子どもの健康づくり推進協議会」として、子どもの健康づくりを進めてきた。長岡市への合併とともに協議会が廃止されたが、協議会の構成員から無償でも継続していききたいとの希望が出されたため、「栃尾地区子どもの健康づくり推進連絡会」として継続して活動している。</p>
活動履歴	<p>平成 21 年度～ 年 2 回の定例会を開催し、子どもの健康に関することについて、生活習慣や発達障害等、課題を決めて参加機関の取り組みについて情報交換し、それぞれの取り組みに活かしている。</p> <p>平成 22 年度～ 発達障害を広く理解してもらうためにリーフレ</p>

	<p>ットを作成し、母子健診等で配布</p> <p>平成 28 年度～ 「栃尾地区子どもの健康づくり推進事業」として子育ての課題を抽出し、解決のための事業展開について協議</p>
--	---

③入東谷活性化プロジェクト

代表者	諸橋 昇一
構成員数	6 人
設立時期	平成 29 年 1 月
活動テーマ	地域資源を活用した入東谷地区の活性化
団体発足の経緯と活動内容	過疎化と高齢化が進む入東谷地域において、集落間で連携した事業を行うことによって地域全体を活性化しようと、入東谷区長会が中心となって結成した。地域資源を発掘し、それを観光資源へとブラッシュアップすることで、交流人口の拡大につなげることを目指す。
活動履歴	<p>平成 28 年 10 月 具体的事業内容について検討</p> <p>平成 29 年 2 月 事業実施体制について検討</p> <p>平成 29 年 6 月 旧石峠街道再整備着手</p>

④花ももの郷栃尾

代表者	大崎 清作
構成員数	72 人
設立時期	平成 17 年
活動テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・栃尾地区を一望できる鳩峰・栄六園(鷹待場)と山道(市道を含む)で花もものを植樹し、地域住民の散策と憩いの場としての拠点づくりと花見(花ももの郷栃尾)の名所としての位置付けを目指す。 ・地域のボランティア組織として栃尾地区の活性化と融和を図り「緑と心豊かな町づくり」の一端を担い継続的な活動として社会に貢献する。 【花ももの郷栃尾 会則より】
団体発足の経緯と活動内容	<p>中越地震を機に、地元住民に元気を出してもらいたいという思いから、緑と心豊かな町づくりに取り組もうという有志が立ち上がり、花でいっぱい町づくりを目指して花ももの植栽と遊歩道の整備を始めた。</p> <p>各種助成金なども活用しながら、会員のボランティア活動で毎年花ももの植樹と遊歩道整備を行っている。毎年春には花見の会を開催している。</p>
活動履歴	<p>平成 17 年から毎年計画的に花ももの植栽及び遊歩道の整備を実施</p> <p>平成 28 年事業実績</p> <p>4 月 ・植樹予定地雑木伐採、草刈り</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・花見 6月 ・育樹及び除草 7月 ・草刈り、遊歩道整備 8月 ・育樹及び除草 9月 ・花もも植樹予定地準備作業(草刈り、雑木伐採) 10月 ・花もも植樹準備(草刈り、施肥) ・花もも植樹 (栃尾東小学校卒業記念樹) ・冬囲い
--	--

⑤トチオノアカリ協議会

代表者	西片 吉邦
構成員数	20人
設立時期	平成28年6月
活動テーマ	市民活動団体相互が連携し、イベント等を通して秋葉神社をはじめとした地域資源の発信と再認識を行い、地域の活性化を図る。
団体発足の経緯と活動内容	<p>平成27年度ながおか・若者・しごと機構が実施した「ながおか仕事創造アイデアコンテスト」のいいね！アイデア部門で、刈谷田中学校の生徒(当時)の「とちお夜のランプまつり」が最優秀賞を受賞したのをきっかけに、そのイベントを実現させるべく発足した。</p> <p>協議会は灯りをテーマにしたイベントを計画していた栃尾青年会議所、地域活性化委員会、とちラボの3団体と、にぎわい委員会のメンバーで構成され、平成28年度に初めて秋葉公園ライトアップ、とちお夜のランプまつり、秋葉百八風鈴灯、秋葉門前ナイトマルシェの同時開催を実現した。</p>
活動履歴	<p>平成28年9月 トチオノアカリ開催</p> <p>平成29年10月 トチオノアカリ開催</p> <p>平成29年11月 ナカノマタノアカリ開催</p>

平成 30 年度 栃尾地域ふるさと創生基金事業 予算書

[収 入]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
長岡市負担金	3,690,000	
合 計	3,690,000	

[支 出]

(単位：円)

項 目	予算額	説 明
あぶらげんしん活用促進事業	350,000	助成金
子どもの健康づくり推進事業	450,000	報償費、印刷製本費等
地域の宝ブラッシュアップ事業	550,000	助成金
地域と栃校生との交流促進事業	380,000	委託料
花ももの郷栃尾PR事業	800,000	助成金
トチオノアカリ支援事業	1,000,000	助成金
実行委員会運営費	160,000	委員謝金、消耗品費等
合 計	3,690,000	